



継続的な活動が生み出した 学生と被災者の新たな支援の形

～『熊本地震現地ボランティア』4年間の活動を振り返って～

関西学院大学主催 災害支援フォーラム



要事前申込
参加費無料

日時:2021年10月9日(土)13:30～16:15

※オンライン(Zoom)にて開催

関西学院大学では、2016年度～2019年度の4年間、熊本地震現地ボランティア活動に取り組んできました。計15回の活動に参加した学生数の合計は延べ302名。多くの学生と取り組んできた現地ボランティアでは、学生と被災者による新たな支援の形が生まれました。活動を振り返りながら、継続的な関わりだからこそできること、大学や学生が関わるからこそできること、そしてこれからの災害支援について皆さんと共に考えたいと思います。ぜひご参加ください。

申込み URLもしくはQRコードからお申込みください。

<https://forms.gle/7GNfKqxDEtoMbrjR7>

定員 300名

参加費 無料

締切 10月6日(水)



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

お問い合わせ

関西学院大学ボランティア活動支援センター
ヒューマン・サービス支援室
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原1番町1-155
☎0798-54-6061 ✉kg.hssso.info@kwansei.ac.jp
HP: https://www.kwansei.ac.jp/c_volunteer



日時:2021年10月9日(土)13:30~16:15

※オンライン(ZOOM)にて開催

13:15開場
途中休憩あり

第1部

現地ボランティア活動参加学生による活動報告 私たちと益城町の4年間



第2部

パネルディスカッション 継続的な活動が生み出した学生と被災者の新たな支援の形

第3部

参加者同士の意見交換会 私たちが紡ぐ未来~学生ボランティアができること~



第4部

室崎益輝氏による今後の展望・まとめ 学生ボランティアが被災地に関わる意味

第2部 パネリスト紹介

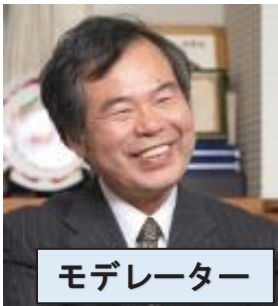
室崎 益輝 氏

佐藤 忍 氏

宮崎 律子 氏

関 嘉寛 氏

堀之内 有希 氏



モデレーター



熊本YMCA(元木山地域支えあいセンター、現益城町総合体育館担当)職員。避難所や木山仮設団地での活動の受け入れをしていただき、ご尽力いただいた。住民に寄り添った視点で考えることを大切にされており、まちあるきなどを通じてその心構えをご教示いただいたことも。



元馬水東道仮設住宅住民、元集会所館長。活動の受け入れはもとより、教職員や学生の「お母さん」的な存在として叱咤激励していただき、活動を支えていただいた。宮崎さん自身もスタッフとして交流会を運営するなど、住民同士を繋ぐ活動を継続されている。



ヒューマン・サービス支援室長・社会学部教授。第1回~12回現地ボランティア引率責任者。ボランティアや市民活動、NPO・NGO活動・組織が主な研究対象。日本各地の被災地で支援活動に携わり、災害を契機とした日本における市民社会に関する研究などを行っている。



2016年度~2019年度ヒューマン・サービス支援室ボランティアコーディネーター。第1回~11回、13回~16回現地ボランティア引率。大学時代の東日本大震災のボランティア経験を活かし、熊本地震発生当初より、募金活動や現地活動の調整のため奮闘した。

現地ボランティア参加学生も登壇します

オプション企画(16:30~17:00)

現地ボランティア参加者 大交流会

第1回~16回の熊本地震現地ボランティア参加者に向けた交流会です。現地の住民さんも交えて、一緒にお話しませんか? 在校生だけでなく、卒業生もぜひご参加ください!

チラシ表面に記載のフォーラムへの申込フォームの中に参加申し込み欄有。交流会のみ参加希望の場合はヒューマン・サービス支援室までお問い合わせください。

